

情報公開文書

生成 AI を活用した救急外来教育・訓練・能力評価プラットフォームの研究開発

第 1.5 版 2026 年 8 月 18 日

1. 研究の名称

生成 AI を活用した救急外来教育・訓練・能力評価プラットフォームの研究開発

2. 倫理審査と許可

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施します。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科

研究責任者：大鶴 繁（京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学 教授）

4. 研究の目的・意義

本研究は、生成 AI を活用した教育用対話型シミュレーションシステム（ER-AI Sim）を用いて、救急外来における初期対応教育の有用性を評価することを目的としています。患者さんに新たな介入を行うことなく、救急教育における安全で反復可能な学習環境を整備し、教育手法の改善につなげる意義があります。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

6. 対象となる試料・情報の取得期間

研究機関の長の実施許可日から 2029 年 3 月 31 日の間に、京都大学医学部附属病院救急外来へ救急搬送され、参加研修医が初療記録又は診療録記載に関与した患者さん。患者さんの重症度による除外は設けません。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

参加研修医が関与した救急搬送患者さんの既存診療情報を用いて、救急外来初療記録の記載内容や教育介入後の診療記録の質を補助的に評価します。研究のために患者さんへ新たな検査、治療又は来院依頼は行いません。情報公開文書は研究期間中継続して公開し、各患者さんの診療情報は診療日から原則 1 か月以上経過した後に研究用データセットへ取り込みます。取得した情報は京都大学医学部附属病院内で解析し、他機関へ提供しません。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

年齢、性別、来院日時、搬送形態、主訴、トリアージ情報、来院時バイタルサイン、参加研修医の診療録記載の有無、主要検査・処置の実施時刻、転帰、その他研究に必要な診療情報

9. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日以降に情報公開文書の公開を開始し、対象となる各診療情報については診療日から原則 1 か月以上経過した後に研究利用を開始します。

10. 当該研究を実施する共同研究機関

本研究は京都大学医学部附属病院の単施設研究であり、共同研究機関はありません。

11. 試料・情報の管理について責任を有する者

京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科 篠塚 健

12. 試料・情報の利用または提供の停止

ご自身の情報を研究に利用されたくない場合は、患者さんご本人又は代理人から下記の連絡先までお申し出ください。解析前で除外可能な範囲において研究利用を停止し、解析対象から除外します。なお、すでに個人を識別できない形で統計解析済み又は公表済みの情報については対応できない場合があります。

13. 研究に関する資料の入手・閲覧

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書その他の研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される場合は、下記の研究課題ごとの相談窓口までお問い合わせください。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金

本研究は、京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科 講座研究費を用いて実施します。

2) 提供者と研究者との関係

本研究は特定の企業からの資金提供を受けていない。

3) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科

担当者：篠塚 健

Tel：075-751-4210

E-mail：kenshino@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

Tel：075-751-4748

E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

16. 外国にある者に対する試料・情報の提供

本研究では、外国にある者に対して試料・情報を提供する予定はありません。